



# むかし へんでんしょ つく 昔の変電所を作ってみよう

旧町屋変電所は、明治42年（1909）に建てられた町屋発電所の変電施設です。赤レンガが印象的なこの建物は昭和31年（1956）に役目を終えましたが、今でも地域のみなさんに愛されるお宝となっていて、平成11年（1999）に国登録有形文化財になりました。



どうして電気を変えなきゃいけないの？

発電所で作られた電気をそのまま送ると、多くの電気が送る途中に熱となって逃げてしまいます。そのため、変電所で電圧を上げる必要があるのです。



学芸員  
ミキさん

## ● 用意するもの

はさみ・のり・カッター

## ● 作り方

1. 太線（——）に沿って、切ります。  
**※刃物をおつかう時は、気をつけましょう！**
2. 赤線部分（——）に、カッターで切込みを入れます。
3. 山折り線（- - - -）に沿って、紙を折ります。
4. 罫子のカバーを作ります。（図1）
5. 数字部分（①～⑱）をのりづけします。
6. ア～カを切込みに差しこんだら完成です！



完成形

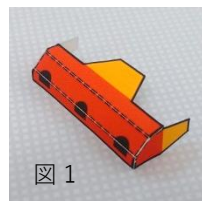
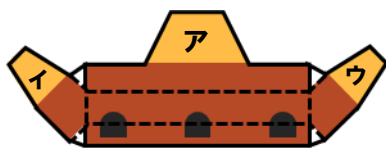


図1

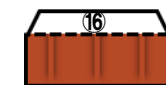


### ▶ 罫子のカバー

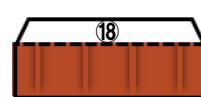
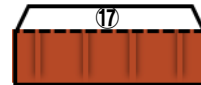
旧町屋変電所には、フランス製とみられる罫子がついています。



### ▼ 庇（北側）

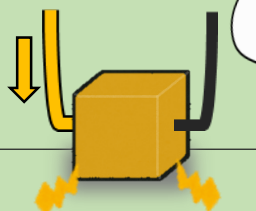
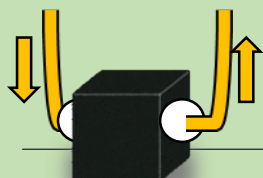


### ▼ 庇（東側）



罫子ってなあに？

罫子とは、電気を漏らさず、電線を支えるものです。電線を変圧器などの機器に直接つけると、機器の外側から地面に電気が流れてしまい、電気を送ることができません。それを防ぐために罫子を使います。

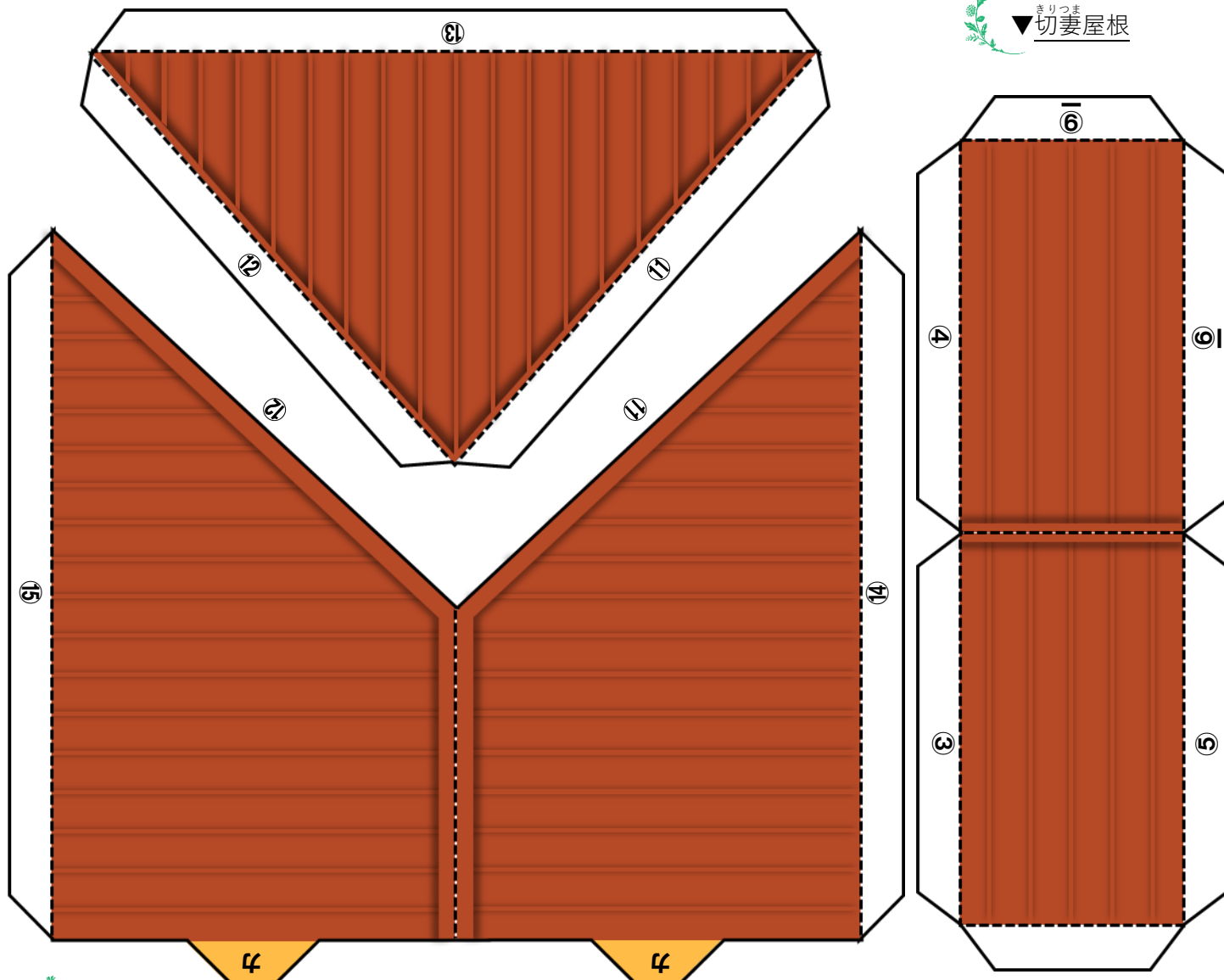




▼寄棟屋根①



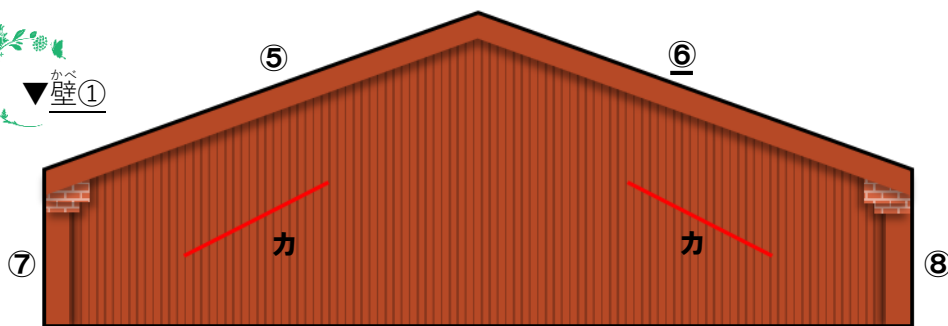
▼切妻屋根



▲寄棟屋根②



▼かべ壁①

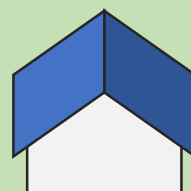


寄棟屋根・切妻屋根の違いを教えて！

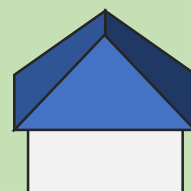
切妻屋根…本を開いて床に伏せたような形をしている屋根です。

寄棟屋根…4つの面がある屋根です。

屋根の形には、他にもさまざまな種類があります。みなさんのおうちの屋根はどんな形をしているのでしょうか？



切妻屋根



寄棟屋根

# THE UMEZU SHIMBUN

